

事業実施報告

開催日	令和4年10月15日（土）～16日（日）		
事業名	新たな発見！！チームづくり基本のき		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	50名
対象	バレーボールを行っている男子中学生		
関係機関名	岡崎建設Owls		

状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

〔事業の内容〕

岡崎建設Owlsと連携し、バレーボールを通じて参加する青少年の交流を深め、仲間意識や連帯感を高めることを目的に1泊2日の日程で事業を実施した。

本事業には男子中学生50名が参加し、事前調査で確認した個人の課題や学びたいスキルの内容や、学年・所属する中学校を踏まえて、参加者を6チームに編成し、活動を行った。

1日目は午前中に青少年交流の家の職員を中心にバレーボールの準備運動を兼ねた交流活動（アドベンチャープログラム）を行い、参加者間の交流を促進した。午後は、岡崎建設Owlsの選手が各チームに入り事前調査で確認した内容を踏まえて、参加者の実態に合わせたバレーボールの指導を行った。その後、岡崎建設Owlsの選手と参加者が混ざって紅白戦を行い、レベルの高いプレーを間近で体感した。夕食後にはミーティングを行い、1日の振り返りの中でチームメイトのよかったところを再確認し、翌日の試合に向けてチームの団結を深めた。

2日目は6チームを3チームずつの2つのグループに分けて、リーグ戦とその結果を踏まえたトーナメント戦を行った。試合数を多く確保することで、2日間の活動の成果を確認することができた。

〔成果〕

- ・参加者アンケートで事業全体に対する満足度について98%の参加者から「満足」「やや満足」の評価を得ることができた。
- ・昨年度から日程や周知方法を変更したことで募集定員の50名を超える申し込みがあった。
- ・参加者からは「ほかの中学校のメンバーと今回の合宿を通じて仲良くなることができた」「バレーボールが上手になったし、バレーボールを通じて新しい友達ができたと」いう感想が多々寄せられるなど、バレーボールを通じて参加する青少年の交流を深めるという事業の狙いに沿った活動を行うことができた。
- ・引率者から「自チームではなかなか試合に出られないであろう選手もいろいろと経験することができ、成長できたと思う」との感想を頂いた。

〔課題〕

- ・募集定員を超える応募があったことから、さらに定員を増やして活動することも検討したい。
- ・引率者アンケートで「PAでバレーボールを絡めた活動があればよい」との意見があったため、PAの内容について検討したい。



「準備運動を兼ねた交流活動」



「チームビルディング」



「岡崎建設Owls選手との紅白戦」



「チームミーティング」



「練習成果の確認ゲーム」



「集合写真」

注1) フォントはMS明朝、12Pで統一すること。

注2) 状況写真は4～6枚掲載し、コメントを付すこと。